

～学校教育・修学旅行に新潮流～

合計1万人が訪問、交流・視察を通して発展途上国について学ぶ 「SALASUSU」のカンボジア工房スタディーツアー 国際教育を進める西大和学園の生徒153名が現地を訪問

“ものづくり”を通じて途上国の人材育成に取り組む特定非営利活動法人SUSU(代表:青木 健太)は、カンボジアのSALASUSU工房にて修学旅行や校外学習など高校や大学を始めとした、各種団体や個人による訪問の受け入れを行っており、ものづくりを通じた活動や農村における生活について学んで頂く機会を提供しています。この度、西大和学園高等学校の国際教育の一環である「海外探究プログラム」を通して、合計153名の生徒が現地を視察いたしました。



◆国内外から累計1万名以上が訪問。SALASUSUのカンボジア工房訪問プログラム

SALASUSUでは、製品の作り手である女性たちが実際に働いている工房への訪問を受け入れおり、スタディーツアーや修学旅行、一人旅などご要望に合わせて、「工房案内、家庭訪問、製作体験」など多様なプランを提供、これまでに合計1万2000名以上が訪問しています。

また、学校向けには事前・事後学習や文化祭での商品販売など、様々なサポートを行っており、合計60校以上の高校や大学、専門学校などが訪問しています。訪問する教育機関・団体数は年々増加傾向にあり、今後もSALASUSUではスタディーツアーを通して、現地の活動や作り手の交流を進めていきます。



<スタディーツアーのイメージ>

◆奈良県の進学校・西大和学園が6年連続で工房を訪問

この度、国際教育を進める奈良県の西大和学園高等学校が、2018年10月26日に工房を訪問、現地ではSALASUSUで働く女性の家への家庭訪問や農村探索などを実施しました。

今回の視察は6度目となり、実施する理由や生徒からの反響について、西大和学園高等学校の藤岡先生より、以下のコメントをいただいております。「工房見学や家庭訪問に加えて、日本を飛び立ちカンボジアで活動されるSALASUSUの日本人スタッフによるワークショップは、その熱量から生徒たちの学びを深化させるだけでなく、生徒の人生観に大きな影響を与えることに繋がっていると感じています。そのためにも今後も継続して訪問させていただきたいです。」



<現地を訪問する西大和学園の生徒>

◆SALASUSU(サラスूसー)とは

SALASUSUは、「ものづくりを通したひとづくり」を活動コンセプトに人々のエンパワメントに取り組むブランドです。カンボジアのシェムリアップから35kmほど離れたクチャ村に独自の工房をもち、経済的・家庭的に困難な背景をもつ女性を工房の作り手として雇用しています。安定した収入とともに、彼女たちが自身と誇りを培い、人生をより前向きに生きられるようにサポートしています。

SALASUSUでは、社会的・経済的に恵まれない人々がぶつかる障害の多くが、ライフスキル教育を受けられていないことに原因があるという考えから、日々の業務時間の一部を作り手のライフスキルトレーニングに充てることで、職業訓練とライフスキル教育の両立を行っています。また、トレーニング内容の開発・発展を継続して行っており、工房の枠を越えて、カンボジア政府や学校、企業やNGOに対してライフスキル教育を提供しています。



<SALASUSU商品イメージ>



<ライフスキル教育イメージ>

◆団体概要

団体名：特定非営利活動法人SUSU(スूसー)
 代表：青木健太
 活動拠点：日本（本部：東京・恵比寿）、カンボジア/シェムリアップ

事業：エシカルファッションブランドSALASUSUの生産・販売
 ライフスキル教育を雇用を通じ提供する学校運営
 企業・官公庁へのライフスキル研修の提供

従業員数：95名(※2018年9月現在、海外スタッフ含む)
 公式HP：<https://salasusu.com/>

SALASUSU



【本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先】
 特定非営利活動法人SUSU 広報事務局 担当：伊東
 (株式会社カーツメディアコミュニケーション内)
 TEL:03-6427-1827 MAIL: ito@kartz.co.jp